

## 2026 年度入学試験問題

## 選 択

### (歴史総合、日本史探究、歴史総合、世界史探究、 公共、政治・経済、数学)

(60 分)

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は 43 ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。  
解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
4. 数学を解答するものは、解答上の注意が裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読んでください。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答用紙(マークシート、数学とその他の科目は解答用紙が異なります)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
6. 下記の選択科目のうちから 1 科目を選択して解答してください。解答用紙にマークする際にも注意してください。(※数学とその他の科目は解答用紙が異なります)

選択科目	ページ	試験問題
歴史総合、日本史探究	1 ページ～12 ページ	問 1～問 40
歴史総合、世界史探究	13 ページ～27 ページ	問 1～問 35
公共、政治・経済	28 ページ～40 ページ	問 1～問 40
数学	41 ページ～43 ページ	ア～ハ

7. マークは必ず HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
8. 監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目、受験番号をマークするとともに、受験番号および氏名を記入してください。
9. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
10. 筆記用具以外は、使用しないでください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

# 歴史総合, 日本史探究

(60分)

## 注意事項

1. 試験問題は、問1～問40まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問1～問40までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

## 問題 I

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

元明天皇の在位中、( 1 )から奈良盆地の北部へ遷都した。この都を平城京という。平城京の北部中央に平城宮が造られた。現在、平城宮跡は発掘調査による成果で遺構が確認され、復元された建造物もある。例えば政務や儀礼を行った( 2 )や朱雀門<sup>(3)</sup>などである。兵部省・式部省などの官庁跡が確認され、日本庭園の源流といわれる東院庭園が復元されている。平城宮跡を忍ぶことができるのは、かつてこの地から遷都した後に長い年月を経て水田化したためである。

平城京は唐の( 4 )を手本としており、道路は碁盤の目状に設置された条坊制である。東西を結ぶ道のうち平城宮に近い道から一条北大路、一条南大路、二条大路であり、最も南は( 5 )条大路である。平城宮の中央に南北にわたり設けられた朱雀大路は道幅が( 6 )メートルあった。朱雀大路の西側を( 7 )京という。人口はおよそ10万人と推測され、さらに数々の寺院<sup>(8)</sup>が建立された。

平城京で天皇家と血縁<sup>(8)</sup>関係を結ぶことにより力を強めたのは藤原氏であった。藤原不比等<sup>(9)</sup>は娘の宮子を文武天皇に嫁がせた。宮子と文武天皇の間に誕生した皇太子が後に( 10 )天皇となる。さらに不比等は( 10 )天皇に娘の光明子を嫁がせ、天皇家との関係をますます強固にした。

問 1 文中の空欄( 1 )に最も適切な都名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 長岡京      ② 大津京      ③ 藤原京      ④ 飛鳥浄御原宮

問 2 文中の空欄( 2 )に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 大極殿      ② 内 裏      ③ 内膳司      ④ 朝集殿院

問 3 文中の下線(3)に最も適切な写真を選び、その番号をマークしなさい。

①



②



③



④



問 4 文中の空欄( 4 )に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

① 長 安

② 洛 陽

③ 楚 州

④ 揚 州

問 5 文中の空欄( 5 )に最も適切な漢数字を選び、その番号をマークしなさい。

① 七

② 八

③ 九

④ 十

問 6 文中の空欄( 6 )に最も適切な道幅を選び、その番号をマークしなさい。

① 14

② 34

③ 54

④ 74

問 7 文中の空欄( 7 )に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

① 西

② 右

③ 中

④ 左

問 8 文中の下線(8)に該当しない寺院を選び、その番号をマークしなさい。

① 元興寺

② 薬師寺

③ 大安寺

④ 広隆寺

問 9 文中の下線(9)に該当しない事項を選び、その番号をマークしなさい。

① 律令の編纂に尽力した。

② 武智麻呂・房前・宇合・麻呂らはその子である。

③ 若い頃に遣唐使として派遣され、仏教を学んだ。

④ 鎌足はその父である。

問10 文中の空欄( 10 )に最も適切な天皇名を選び、その番号をマークしなさい。

① 聖 武

② 持 統

③ 天 武

④ 孝 謙

## 問題Ⅱ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

応仁の乱を契機にその後およそ1世紀にわたり戦乱が続いた。將軍の権力が弱体化して近畿地方が下剋上により政治的混乱をきたしている頃、他の地域の武士たちは自らの力で領国を獲得し、独自に支配を行うようになった。これらの武士を戦国大名という。戦国大名の中でも地方で広大な領国を有したのは、毛利元就・上杉謙信・武田信玄などである。

戦国大名は自分が支配する領国に分国法を独自に制定した。具体的事例としては今川氏が1526年に制定した今川仮名目録、伊達氏が1536年に制定した(13)、結城氏が1556年に制定した結城氏新法度、武田氏が1547年に制定した(14)、三好氏が制定した(15)などである。

問11 文中の下線(11)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 元は安芸の国人である。
- ② 山陰地方の尼子氏と協力して勢力を拡大した。
- ③ 大内氏を滅ぼした。
- ④ 龍造寺氏と激しい戦闘を繰り返した。

問12 文中の下線(12)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 甲斐と信濃に領国を有した。
- ② 別名を景虎という。
- ③ 鎌倉公方を滅ぼした。
- ④ 佐竹氏と同盟を結んで協力しあった。

問13 文中の空欄(13)に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 新加制式
- ② 塵芥集
- ③ 甲州法度之次第
- ④ 早雲寺殿廿一箇条

問14 文中の空欄(14)に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 新加制式
- ② 塵芥集
- ③ 甲州法度之次第
- ④ 早雲寺殿廿一箇条

問15 文中の空欄(15)に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 新加制式
- ② 塵芥集
- ③ 甲州法度之次第
- ④ 早雲寺殿廿一箇条

次ページ以降にも問題があります。

### 問題Ⅲ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

11代将軍( 16 )の頃、松平定信が幕府の老中<sup>(17)</sup>に就任し、幕政改革に着手した。当時は( 18 )年間におきた飢饉による影響で年貢が減収したため幕府の財政が傾いていたが、定信は農村を復興することによりその解決を図ろうとした。主要都市では打ちこわしが勃発し、米屋が襲撃されるなど、治安の不安は幕府に危機感を抱かせた。さらに対外面はロシアからの危機への対応を検討する必要があった。

<sup>(19)</sup>農村復興の策として、人口の減少の激しい地域には出稼ぎを制限し、荒廃した耕地を復旧するための費用を貸し付けたり、米穀の備蓄を奨励した。一方、江戸では商人たちに諸物価の値下げを命じ、江戸に流入していた地方出身者に対しては旧里帰農令<sup>(20)</sup>を発令した。治安対策としては人足寄場<sup>(21)</sup>を創設した。町に対しては、町費の節約を命じて、節約した分の( 22 )割<sup>(21)</sup>を積み立てさせ、この積立金を江戸町会所が運用して貯金・貯穀・貧民救済にあてることとした。

さらに定信は厳しい出版統制令を発令して幕府への風刺・批判を抑えようとした。例えば、海防の必要性を説いた『海国兵談』は、幕政に対する批判とみなされて弾圧の対象になった。洒落本や黄表紙<sup>(23)</sup>など娯楽性の高い本は風俗を乱す原因とされて、洒落本作者の( 24 )や黄表紙作者の( 25 )らや出版元である蔦屋重三郎らが弾圧の対象となった。

問16 文中の空欄( 16 )に最も適切な将軍名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 家定            ② 家慶            ③ 家治            ④ 家斉

問17 文中の下線(17)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 徳川吉宗の孫である。  
② 当時、白河藩主であった。  
③ 教養深い人物で、引退してから自伝『宇下人言』を執筆した。  
④ 元は御三卿の清水家の出身で、松平家に養子に入った。

問18 文中の空欄( 18 )に最も適切な年号を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 天明            ② 延享            ③ 天保            ④ 享保

問19 文中の下線(19)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 使節団が来航したのは江戸湾である。
- ② 日本に朝貢貿易を求めた。
- ③ この使節はラスクマンである。
- ④ 日本からの逃亡者を同行していた。

問20 文中の下線(20)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① かつて徳川吉宗が考案した策を手本としたものである。
- ② 正業の無い者に資金を与えて出身地の農村に帰ることを奨励した。
- ③ この策は幕末まで継承された。
- ④ 江戸の他に名古屋・京都・大坂・奈良・長崎などの都市でも実施された。

問21 文中の下線(21)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 創設されたのは1790年である。
- ② 収容者は手業として紙漉・鍛冶・大工・左官・髪結などを習得した。
- ③ 無宿人が収容された。
- ④ 敷地内に役所を設置していなかった。

問22 文中の空欄( 22 )に最も適切な割合を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 2                      ② 3                      ③ 5                      ④ 7

問23 文中の下線(23)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① この著者は林子平である。
- ② アメリカ・イギリス・フランスと同盟を結ぶことを提案している。
- ③ ロシアの南下を警告する記述がある。
- ④ この著作に対して、幕府は版木を没収する処分を行った。

問24 文中の空欄( 24 )に最も適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 十返舎一九      ② 恋川春町      ③ 曲亭馬琴      ④ 山東京伝

問25 文中の空欄( 25 )に最も適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 十返舎一九      ② 恋川春町      ③ 曲亭馬琴      ④ 山東京伝

## 問題Ⅳ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

大正デモクラシーのもとで、様々な学問が発達した。欧米諸国の様々な思想が紹介されたが、知識人に大きな影響を与えたマルクス主義もその一つだった。( 26 )の『貧乏物語』は広い読者を獲得し、貧困について熟考し議論する機会を日本社会に与えた。

ところで、哲学という言葉は、明六社に属した西周が philosophy に与えた造語であり、同じく西洋由来であるかのよう<sup>(27)</sup>にみえるが、日本においても江戸時代までの国学とは異なる独自の哲学が生まれた。( 28 )は『善の研究』を著して独自の哲学体系を打ち立て、和辻哲郎は仏教美術や日本思想史を研究し、『( 29 )』などを著した。

( 30 )は、初め満州・朝鮮史を研究し、後に国学で重要な研究対象となった『古事記』・『日本書紀』に科学的分析を加えた。蓑田胸喜らと論争を繰り返して、出版法違反で起訴された。

また、柳田国男は民間伝承の調査・研究を通じて、無名の民衆、すなわち「( 31 )」の生活史を明らかにする民俗学を確立した。民間伝承の蒐集にもとづいた『( 32 )』などが知られている。

問26 文中の空欄( 26 )に最も適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 山田盛太郎      ② 石橋湛山      ③ 河上肇      ④ 服部之総

問27 文中の下線<sup>(27)</sup>に属さない人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 森有礼      ② 新島襄      ③ 加藤弘之      ④ 福沢諭吉

問28 文中の空欄( 28 )に最も適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 田辺元      ② 榎田民蔵      ③ 西田幾多郎      ④ 三木清

問29 文中の空欄( 29 )に最も適切な書名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 古琉球      ② 遠野物語  
③ 神代史の研究      ④ 古寺巡礼

問30 文中の空欄( 30 )に最も適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 津田左右吉      ② 美濃部達吉      ③ 矢内原忠雄      ④ 折口信夫

問31 文中の空欄( 31 )に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 常民      ② 庶民      ③ 農民      ④ 山民

問32 文中の空欄( 32 )に最も適切な書名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 古琉球
- ② 遠野物語
- ③ 神代史の研究
- ④ 古寺巡礼

## 問題 V

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

1868年の明治維新を経た日本は通貨の統一や通貨価値の安定性に課題を抱えたが、1885年に日本銀行が兌換紙幣を発行し翌年から政府紙幣の銀兌換を開始すると事実上の銀本位制が確立した。物価も安定に向かったうえ、金利も低下し始めたことを背景として1886年から1889年まで( 33 )の産業を中心に株式会社が盛んに設立された。この現象は企業勃興と呼ばれている。その後、1894年に勃発した日清戦争の勝利を受けて、その賠償金をもとにした金本位制への移行を日本は1897年に実現し、貨幣価値の安定性が増した。当時の先進国は金本位制を採用することが一般的であった。

企業勃興の後、機械技術<sup>(34)</sup>を本格的に用いた産業革命の時代が切り開かれ、官営と民営との両形態によって運営された鉄道事業のほか、政府の援助などを受けて展開した汽船海運が、運輸業の発展を支えた。汽船海運では( 35 )が活躍したものの、半官半民の共同運輸会社が設立され競争が激化し、両社の合併によって日本郵船会社が新設された。運輸業の発展とあわせて繊維産業も次第に生産量を伸ばした。綿花を原料として綿糸を生産する紡績業は機械を導入した典型的な産業であった。幕末開港以降、日本の綿織物業では輸入綿糸を原料糸とする事業者も現れ紡績業の市場は整っていたものの、官営の紡績業は不振であった。渋沢栄一らが1882年に設立した大阪紡績会社は革新的な対応をみせ、同社に追随する紡績企業が相次いだ。一方、紡績業<sup>(36)</sup>と対比して製糸業は外貨を獲得する重要な産業であった。次第に器械式の製糸家が多く登場し発展をみて、1920年代から1930年代にかけて化学繊維が台頭するまで輸出産業としての地位を維持した。造船業や鉱山業では政商と呼ばれた有力な事業者が官営事業の払い下げを受けて事業を拡張し活躍し始めていた。鉄鋼業は鉄道、造船、機械工業などを支える重要な産業だったこともあり国をあげて国産化が推進された。

こうした産業の発展を支えた労働力は農業を主な出自としていた。金肥の継続的な導入、品種改良の推進もあって、次第に米の生産量は増加したものの、人口の増加<sup>(38)</sup>もあって19世紀末には日本は米の輸入国へ転じたと言われている。日本の農村では農業に従事せず農地を貸し出す地主制が広範にみられ、小作料を主に( 39 )で納める場合が多かったため、小作農は生活に苦しみ子供を工場労働に従事させる、あるいは離村し就業先を求める世帯を生み出し産業革命を下支えした。他方で産業革命の進行とともに就学率が向上した。小学校教育は1890年代には男女差を解消しながら就学率が向上し1900年には義務教育の授業料が廃止された。就学率の向上によって人的資源が充実したことが、産業発展<sup>(40)</sup>を継続させる重要な要因になったとも考えられている。

しかし、すでに1870年代のヨーロッパでは石炭に加えて石油を燃料とする技術も模索され、蒸気力のみならず電力の利用も始まっていたうえ、重化学工業や電気機械が登場し

ていた。大規模化した産業に必要な原料や燃料を獲得するため、なおかつ販路を得るため、1880年代以降、欧米列強は植民地の拡大を模索し、次第に日本も様々な対応を余儀なくされるのであった。

問33 文中の空欄( 33 )に最も適切な産業の組み合わせを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 鉄道・紡績      ② 鉄道・製糸      ③ 紡績・銀行      ④ 製糸・銀行

問34 文中の下線(34)について、当時の日本が銀本位制から金本位制を採用するにあたって起こり得る正しい解釈を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 銀貨低落が続いていたので金本位制の採用は輸出に有利であった。  
② 銀貨暴騰が続いていたので金本位制の採用は輸出に有利であった。  
③ 金本位制の採用は外国債発行による外国資金導入には不利であった。  
④ 金本位制の採用は外国債発行による外国資金導入には有利であった。

問35 文中の空欄( 35 )に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 三井              ② 住友              ③ 三菱              ④ 安田

問36 文中の下線(36)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 大規模な工場、昼夜二交代操業、輸入綿花の利用といった諸点において革新的であった。  
② 豊田式力織機の導入、昼夜二交代操業、国産綿花の利用といった諸点において革新的であった。  
③ 大規模な工場、男性労働力の多用、輸入綿花の利用といった諸点において革新的であった。  
④ 豊田式力織機の導入、男性労働力の多用、国産綿花の利用といった諸点において革新的であった。

問37 文中の下線(37)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 製糸業が生み出す生糸は、一般的な衣料品に使用され国内の市場規模も大きかった。  
② 養蚕を行う農家の副業によって生糸の原料となる繭がつくられた。  
③ 製糸業が盛んであった地域は、富岡製糸場を除くと工業化が進んだ東京や大阪といった都市部であった。  
④ 日本の産業革命期に日本の生糸が主に輸出された国々は、蚕病に苦しんだフランスやイタリアであった。

問38 文中の下線(38)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 1872年に約1,380万人だったが、1911年には5,000万人を超えた。
- ② 1872年に約1,380万人だったが、1911年には1億人を超えた。
- ③ 1872年に約3,480万人だったが、1911年には5,000万人を超えた。
- ④ 1872年に約3,480万人だったが、1911年には1億人を超えた。

問39 文中の空欄( 39 )に最も適切な言葉を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 現物            ② 現金            ③ 労働力            ④ 銀貨

問40 文中の下線(40)について次の設問に答えなさい。

継続的な産業発展は働く環境にも影響を与えていた。当時の労働運動と政府の対応について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 工場労働者が増加し低賃金・長時間労働などの改善を要求する動きが現れ、1897年に労働組合期成会が設立された。
- ② 政府は1900年に治安警察法を制定し労働運動を取り締まった。
- ③ 政府は労働者を保護するための工場法を1911年に制定し、即座に実施した。
- ④ 工場法は深夜業に関する内容を含んでいた。